おやつのじかん3　ーちょっとひとやすみー

ー傘物語ー

NO．61

先月、傘を２本…無くしました。１本は遠いお店の傘立てに置き忘れ。もう１本は、買ってから初めて差したその日に、傘立てからいなくなりました。子どもだったらお母さんに怒られますねぇ。２度あることは…と思い、３本目は慎重になっています。今はご縁がないようなので。でも、梅雨の必須アイテムですからね。傘とのいい出会いがありますように。

電車の中での忘れ物第一位は、今も昔も圧倒的に傘だそうです。持ち物の中で、珍しく途中でいらなくなる物です。でも、必要なときには、み～んなが持っています。だからですね。そんな傘ですが、皆さんそれぞれに思い出があるのではないですか？ 振り回してダメにしてばっかりだった少年の頃。新しい傘を買ってもらって、雨の日が待ち遠しかったあの頃。誰かに傘を差し伸べられてドキドキしたあの日。それは何色の傘だったか覚えていますか？

さて、雨のお供の傘ですが、“傘を差す”って、けっこう大変なワザですよね。しっかり持っていられないうちは、なかなか役に立ちません。でも、外に出る機会が増えてくれば、身近になってくる道具です。『握り続ける』力がついてきて、オモチャを運んだり、カバンを持ったり、『あそこまで～をする』力がついてきて、風が吹いても、少し手が疲れてきても『同じ位置でキープしようとする』気持ちと力がついてきて。あれあれ、けっこう大変です。道具の中でも、じつは難易度が高いのかもしれません。日常で他に同じような姿勢やパワーを使う動作は、あまりないと思います。準備する大人にとっても、なかなか面倒で、手間がかかって、荷物も多くなって、手をつなぎにくくなって、それでいてけっこう濡れてしまうし…。雨合羽にしようってことになりがちです。

でも、せっかくこの“ちょっとひとやすみ”を読んでいただいたのですから、遊び心を出してみませんか？ 傘立てのいちばん奥から、小さな傘を出して試してみてはどうでしょう？ 傘を新調しようと思っているのなら、いろいろ検索してみては？ シンプルな物から、内側に絵が描いてある気の利いた物まで種類はたくさん、重さ大きさもいろいろです。長靴を買い替えようかなと思っているのなら、ぜひ傘もセットでどうでしょう。調べているうちに自分が欲しくなるかもしれません。

道具には必ずそれを使う場面があります。“雨と傘はセットだよ”ということを知ること、教えることから始めてみませんか？ 毎日あることではないので、伝えるのは雨が降ったときにしかできません。梅雨の今がチャンスです。そして、傘を差すのがおもしろくならないとですね。トトロがバス停で、傘に落ちる雨音にニッコリする、あの楽しさです。玄関先で、ただ傘を差して雨音の鑑賞なんてどうでしょう。上を見上げてくれれば大成功。太鼓にバチを当てるように、傘に雨を当てて、雨音を楽しもうとすれば、真っすぐ傘を差そうとするかもしれません。雨で外に出られないときの、ひとつの遊びになりそうですね。『濡れないように』は、きっとその後についてきます。

ダメだったら、上手くいかなかったら、また今度にすればいいんです。小さなチャレンジから、思いもよらぬ子どもの育ちに会えるかもしれません。うっとうしい梅雨も、考えようです。
ところで、何で「傘を差す」って言うのでしょう？ ついでに調べてみてください。（Ｒ３．６）Ｋ